

第93回 リレー講演会

【医療・介護・健康分野】

[共催：ARECプラザ 医療・介護機器商品化研究会]

日時：2008年10月22日(水) 15:00~18:00

終了後、交流会 参加費：2,000円 (ARECプラザ会員は無料)

場所：AREC4F (上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 TEL:0268-21-4377)

講演 1

15:00~15:50

演題 『歯科用インプラントの材質と構造設計』

講師：松本歯科大学 大学院硬組織疾患制御再建学講座 歯科理工学講座 准教授 永澤 栄 氏

概要

歯科用インプラントは僅か3mmほどの径であるが、人の体重程度の咬合力が繰り返し荷重される。このため、約5%程度が口腔内で破折しており医療上問題となっている。本講演では、現在インプラント材料として最も広く使われているチタンと最近注目されているジルコニアの諸性質と、これらを使用した歯科用インプラントの構造設計について実験結果を交えて紹介する。

講演 2

16:00~16:50

演題 『超音波診断の不思議、分解能』

講師：アロカ株式会社 メディカルシステム技術部 参事 馬木 清隆 氏

概要

超音波診断装置の性能を見極める大事な要素に分解能という定義がある。『この装置の分解能はいくらですか?』という質問に対して、『1mmです』と答えたとき、超音波の世界ではよく聞く会話であり、何となくお互いがそこで納得しあってしまう。しかしながら、この数値表示、表現方法などは世界的にも未だに統一されていないことも現実である。今回はこれらの『超音波の不思議』から診断装置の原理、最新技術などを紹介する。

- 休憩 -

講演 3

17:00~17:50

演題 『ジャイロセンサ・加速度センサを用いた腕時計型行動識別計 (ViM)』

講師：マイクロストーン株式会社 代表取締役社長 白鳥 典彦 氏

概要

医療・健康用途の補助機器として、身体の行動を10パターンに識別でき、さらに精度の高い消費カロリーを算出できる腕時計型行動識別計 (ViM)を開発した。ジャイロセンサ・加速度センサを用いた原理と病院、自治体等での活用事例について紹介する。

お申込先

ARECプラザ宛 メール (mousikomi@arecplaza.jp) または FAX (0268-21-4382) でお申込み下さい。

ARECプラザ 第93回リレー講演会 参加申込書

[H20年10月22日(水)]

企業名

参加者名

所属・役職

TEL

FAX

E-mail

交流会

参加 ・ 不参加

参加者名

所属・役職

TEL

FAX

E-mail

交流会

参加 ・ 不参加

ご記入いただいた個人情報 (御社名・所属/役職・氏名) は参加者名簿として、参加者の方々に配布する予定です。